＜先週の説教から＞

『ルツ記⑤―生きている人にも死んだ人にも』　武田真治牧師

ルツ記 ２：１７～３：４　ローマ手紙 １４：７～９

ルツ記を一つの恋愛小説のように読まれる方もおられます。この２章でルツとボアズが出会う場面も、ルツを見初めたボアズが彼女の気を引くために特別扱いをしたのだと。少々、下世話な解釈ですね。そうではないことを実は他の聖書の箇所から見ることができます。それは、マタイによる福音書の冒頭に記されている『イエス・キリストの系図』に於いてボアズが出てくるからです。そこには「サルモンはラハブによってボアズを、ボアズはルツによってオベドを」と記録されています。これによれば、ボアズの母親は「ラハブ」ということになります。このラハブこそ、あのモーセの後を継いだヨシュアが約束されていた土地を次々と取得した時、エリコという大きな町を攻めて陥落させた際にとても功績を上げた女性です（ヨシュア記６章）。ただ、彼女は聖書によれば「遊女（＝売春婦、当時は外国人がその町や国で遊女となった）」であったとあります。少なくとも、その時のエリコの住民はイスラエル人にとっては他民族でした。その後、ラハブの一族は帰化をしてイスラエル人となりました。ボアズはその子供だと。従って、彼には異邦人の血が流れているのです（マタイの系図は所々、父親の名前が省略されているので、直接ラハブから生まれたのではないかもしれませんがその子孫であることは事実だと）。ですから、モアブ人であるルツが「落穂ひろい」をさせて欲しいと頼んだ時、彼の畑を「監督している農夫」はダメだと言わずに許したのです。それは外国人にも拾わせてやれとボアズが命じていたからでしょう。おそらく彼の中に他民族の血が流れていることから来ていると言い得ます。ルツは他の偏狭な地主の畑では頼んでも、すぐに門前払いをされており、初めて入れてもらえたのがボアズの畑だったとも考えられます。そのような前歴があるから、余計にルツに親身になったと言い得るのです。

以上のような結果、ルツはたくさんの収穫を上げることが出来たのでした。それを家で見た義理の母ナオミは「目をみはり」「いったいどこで落ち穂を拾い集めたのですか」と尋ねます。そしてボアズの名をルツから聞いた時「その人はわたしたちの家を絶やさないようにする責任のある一人」であると気付くのです。そして、この一連の出会いの背後に神様の“導き”を感じ取ったのでしょう。あの「主がわたしを悩ませた」と批判していた彼女が「生きている人にも死んだ人にも慈しみを惜しまない主」と言うように変わったのです。ここでナオミが言う「死んだ人」とは自分のことも含めているのではないかと思います。もう生きて行く力も希望もない「うつろ（＝からっぽ）」な人間だと言っていたのですから。しかし、ちゃんと神様はこんな自分をも“見捨てられない方”であり、「慈しみ（＝ヘセド、愛とも訳せる言葉）」を与えてくださったことを改めて分かったのでしょう。まさにナオミの“信仰”が新たにされた出来事だったのでした！

伝道者パウロはローマの信徒への手紙で「キリストが死に、そして生きたのは、死んだ人にも生きている人にも主とさられるためです」と語っています。イエス様が死んで黄泉（よみ）に下り、復活し、天に昇り、私たちを招いて下さるのは、死んだ者も生きている者も“見捨てない”愛を示しているのです！

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【今週の集会】

◉聖書研究・祈祷会 Ⅰ.　12月 1日（水）20：00
Ⅱ.　12月 2日（木）10：30

聖　書：　エゼキエル書
祈祷主題：　生花奉仕者を覚えて
担当者：　（水）大竹　（木）中村
祈る人：　金剌さん　金剌さん

【教勢報告】

主日礼拝　男 22　女 57　計 79
祈祷会 Ⅰ.　男 5　女 5　計 10
Ⅱ.　男 3　女 9　計 12
日曜学校　幼稚科 15　小中科 17　計 32

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【次週礼拝】　１２月　５日（日）

聖　書：　ルツ記　３：１０～４：１
マタイによる福音書　１：１８～２１
説　教：　「ルツ記⑦―成り行きの定まり」
武田 真治 牧師
讃美歌：　２４２(1と2)、２４１(1)、３２、２３６(1)、４５６(1)、８３(1)

【次週当番表】

司式:相浦長老 奏楽:山中 礼拝:金剌長老
献金：飯島　飯田　受付：松田　森本
会堂準備：浅井　阿部　金剌　齋藤　山田
看板：保坂　週報：岩佐　お花：森本

【次週集会予定】　礼拝前：・求道者会　・聖書輪読会
礼拝後：長老会　会堂管理委員会

６２－４８

週報

2021年度　教会標語

「信仰に支えられて、共に生きよう！」

２０２１年　１１月　２８日

日本キリスト教団　**上尾合同教会**
牧　師　武田　真治

〒362-0041　上尾市富士見２－３－33
TEL＆FAX　048－771－6549
http://www.ageo-church.org/